

Planning and CoordinationMACHINE TIME EXECUTIONREPORT ( 4-1 CYCLE)

Experimental Group	T517	Reporter	藤井芳昭
Scheduled Period and Shift	2002年10月30日～ 11月14日(30シフト)	Main, Sub, Para	PARA

Experimenters 藤井芳昭、金信弘、竹下徹、梶野文義、川越清以、宮田等、他18名

## SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS

申請の40シフトに対してキャリブレーションの効率的実行を図るべしとのPACの意見により30シフトが受理された。これを受けて可能な限り複数の測定器の貫通測定に努める等した結果、一部のマッピング測定と疑似ジェット測定を除き、ほぼ所定の測定を完了した。測定項目は、

- a)電子入射に対するエネルギー分解能及びリニアリティ、
- b)校正のための貫通ミューオン測定、
- c)電子及びミューオン入射による、レスポンスの入射位置依存性のマッピング、
- d)シャワー位置測定器の位置分解能

e)カロリメータ・プリシャワー測定器・シャワー位置測定器を組み合わせた粒子識別性能などである。特にシャワー位置測定器については、今回初めて試みたAPD直付読み出しについて予想以上の好結果を得ることが出来、今後の展開について大きな前進となった。今回測定出来なかった疑似ジェット測定については、イベントオーバーラップにより性能評価を行なう。

今回の結果を踏まえてモジュールの改良を行ない、来年度のテストへ備えたい。

## EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.

10月30日朝9時よりビームの供給を受けた。途中約3日間の加速器故障があったため予定の11月11日までに30シフトのビーム供給を受ける事が出来ず、企画調整室及び他グループの配慮を得て11月14日までビームの供給を受け、所定の30シフトを得ることが出来た。またビームの質・強度は十分なものであった。

撤退作業の時間が短かったため、エリア及び計数室の更地化に若干不十分なところがあったかもしれませんが、状況に鑑みご容赦下さい。

## COMMENTS